

親子ふれあい運動遊び教室について(報告)

1 ねらい

運動する子とそうでない子の二極化が進む中、幼児・小学生とその保護者が、体を使った運動遊びの楽しさを実感することで、幼少期から体を動かすことの重要性を保護者に啓発し、親子ですすんで体力向上に取り組もうとする意識を高めることを目的に開催しました。

2 主催

奈良県体力向上推進連絡会 奈良県教育委員会

3 後援

公益財団法人 奈良県体育協会 公益財団法人 奈良県学校給食会

4 協賛

一般財団法人 奈良県教職員互助組合
公益財団法人 スポーツ安全協会奈良県支部



5 内容

(1)「レッツ！親子運動遊び」

① 10月22日(土)	斑鳩町立斑鳩小学校	体育館	参加者 79名
② 11月 5日(土)	広陵町立真美ヶ丘第一小学校	運動場	参加者 68名
③ 11月19日(土)	奈良県立大和中央高等学校	体育館	参加者 118名
④ 11月26日(土)	奈良市立朱雀小学校	体育館	参加者 73名



幼児(4歳児、5歳児)・小学校低学年(1年生、2年生)児童及びその保護者を対象に、大阪青山大学 健康科学部の村田先生の御指導のもと、「子どもの運動能力を伸ばす親子スキンシップ体操」や「親子かけっこ」、「跳び箱や平均台などいろいろな用具を使っての運動遊び」を親子で一緒に楽しみました。子どもにとって少しむずかしいと思うような課題に意欲的に何度もチャレンジする姿が見られました。親子で一緒に汗を流し、すばらしい笑顔に包まれました。

(2)「子どもを夢中にさせる運動遊び」

①10月16日(日)	大和郡山市立治道小学校	運動場	参加者	38名
②11月6日(日)	大淀町立大淀緑ヶ丘小学校	運動場	参加者	30名



奈良県ラグビーフットボール協会 タグラグビー委員会高橋先生・米山先生のご指導のもと、「親子鬼遊び」や「パス回し」、「タグ取りゲーム」などを行いました。子ども達は、保護者や奈良教育大学の学生ボランティアの方からの励ましの言葉やアドバイスを受け、意欲的に運動遊びに取り組んでいる姿が見られました。親子の大歓声が運動場に響きわたってました。

6 まとめ

昨年度から実施の「親子ふれあい運動遊び教室」は、6会場で合計406名の参加を数え、大きなけがもなく無事終わることができました。参加者からは、「子育ての中で、身体を一緒に動かすことやコミュニケーションを図ることの大切さを実感しました。」「久しぶりの運動に親も楽しかったです。家で実践しようと思います。子どもと遊ぶのにおもちゃはいらないと感じた。」「親の体を遊具にして、こんなに楽しそうな子どもを見ることができました。いっぱい一緒に遊びます。」「遊びを通して約束を守ったりする大切さも学んでくれた。」などの感想を頂きました。

今後もこのような機会を通して、奈良県の多くの子ども達が運動に親しみ、運動好きになってくれればと考えています。